



第58期 年次報告書

2016年4月1日～2017年3月31日



インヴァスト証券株式会社

証券コード：8709

MISSION

存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

01

私達のミッションは、私達が暮らすこの世界を、「もっと良い場所」にする事です。私達の考える「もっと良い場所」とは、本当に必要としている人が、必要としているサポートを受けられる世の中です。一生懸命、真面目に働いている人は、ちゃんと豊かになれる世の中です。優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中です。どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。それも、寄付や善意に頼る従来のスキームではなく、経済活動の結果として、必要な人に必要なお金が届く世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出す事、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が、人生を豊かにする為のチャンスをつかむお手伝いをする事です。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に、貢献していきたいと考えています。

VISION

目指す姿

2025年までに

全世界で1,000万人の利用者を持つ

金融ソリューションを生み出す

02

私達は、世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて「世界をもっと、良い場所にする」事を目的に働いています。ですから私達は、資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

そして、より多くの人々の課題を解決する事を目的としている私達は、私達が提供する金融ソリューションの利用者数を増やしていく事、そして、売上に代表される事業規模を拡大していく事を重視します。その為に、私達は金融という側面から、進化するテクノロジーに挑戦し、これまでの常識や慣例を疑い、顧客利便性や顧客価値を高める革新をリードし続けることを目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

◆ トップメッセージ ◆

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私達インヴァスト証券グループは、昨年7月に、これから目指すべき姿や、目標とすべき会社の姿を徹底的に議論し、新しいミッションとビジョンを掲げました。新しいミッション、「世界をもっと、良い場所に作る」という言葉には、既存のFX事業を出発点として、より広く、様々な事業領域に成長拡大していきたいという想いが込められています。

それは、「様々な人の人生における、お金に関する課題を解決する金融ソリューションを生み出す会社」を目指そうという想いであり、これを受けて、「2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す」という新しいビジョンを打ち出しました。

当期におきましては、4月より、世界で最も流動性のあるETF（上場投資信託）に投資する新サービス「トライオートETF」を開始し、9月には、「シストレ24」において、お客様が設定した条件に合わせて好調なストラテジーを自動で入れ替える新機能「フルオート」をリリースするなど、付加価値のあるサービスの提供に努めてまいりました。

しかしながら、店頭FX取引における業界最狭水準スプレッドの提供に伴う収益性の低下や新サービス「トライオートETF」の事業モデル模索により、費用が先行したことなどから当社グループの当期の営業収益は35億48百万円（前期比93.7%）、営業損失は42百万円（前期は3億11百万円の営業利益）、経常損失は70百万円（前期は2億82百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は1億18百万円（前期は4億4百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

今後も、当社グループはビジョン達成に向け、「自分が使いたくなる、家族に勧めたくなるサービス」と言っていだけるような商品・サービス品質を目指してまいります。

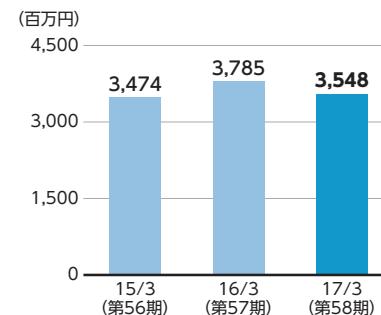
株主の皆さまには、今後ともインヴァスト証券グループの成長にご期待いただくとともに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



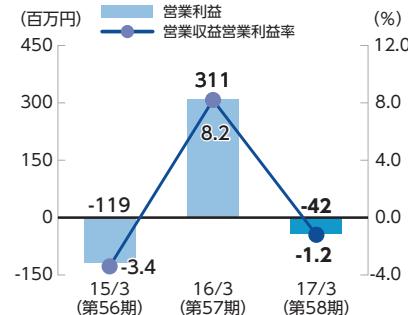
2017年6月 代表取締役社長 川路 猛

◆ 財務ハイライト ◆

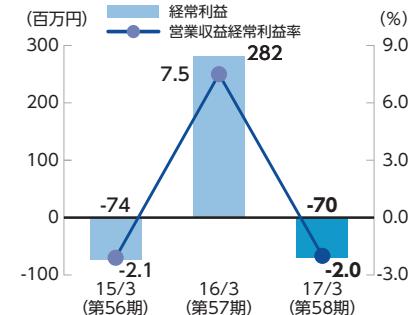
営業収益



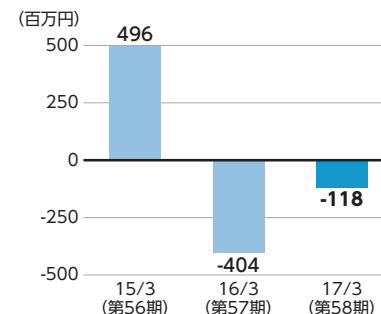
営業利益・営業収益営業利益率



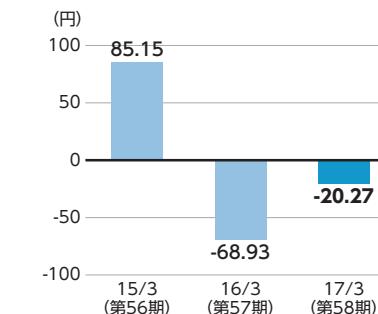
経常利益・営業収益経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



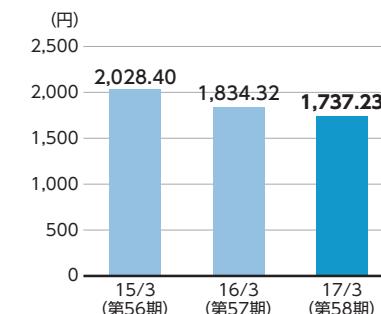
1株当たり当期純利益



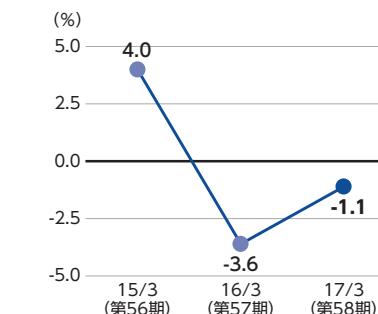
総資産・純資産・自己資本比率



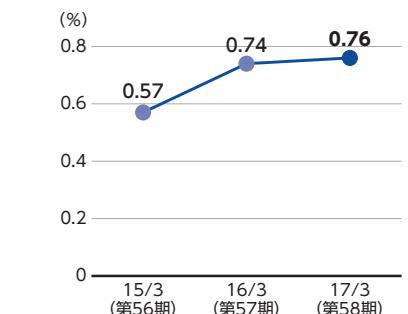
1株当たり純資産



自己資本利益率 (ROE)



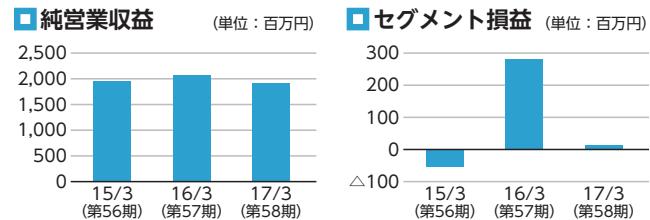
株価純資産倍率 (PBR)



店頭FX取引事業

店頭FX取引は、「FX24」、「シストレ24」および「トライオートFX」の提供を行っております。

当期においては、シストレ24「フルオート」機能追加等により、取引量は増加したものの、スプレッド縮小による収益性の低下から減収減益となりました。



純営業収益
19.12 億 百万円
(前期比92.1%)

セグメント利益
1.3 百万円
(前期比4.7%)

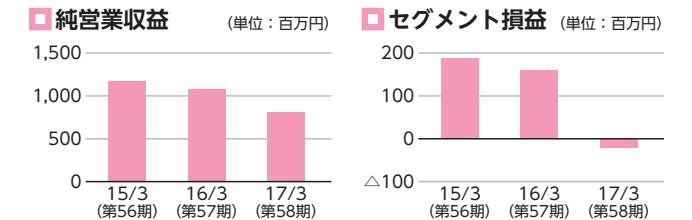
純営業収益
8.7 億 百万円
(前期比74.8%)

セグメント損失
2.2 百万円
(前期は1億61百万円のセグメント利益)

取引所FX取引事業

取引所FX取引は、東京金融取引所における為替証拠金取引「くりっく365」の提供を行っております。

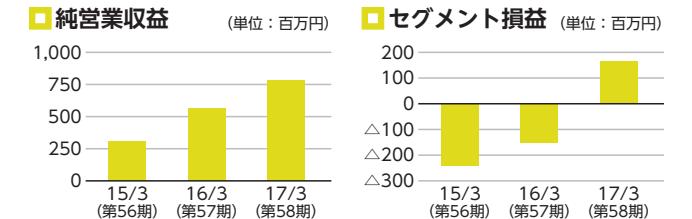
当期においては、前期と比較し、変動の少なかった為替相場の影響により、取引量が伸び悩んだため減収となりました。



海外金融事業

海外金融事業は、豪州子会社IFSが店頭FX取引、店頭CFD取引および証券取引を行っております。

当期においては、法人向けサービスが順調に拡大し、単年度黒字化を達成いたしました。



NEW 店頭ETF取引事業

店頭ETF取引は、ETF特化型証拠金取引「トライオートETF」の提供を行っております。2016年4月、サービス開始の「トライオートETF」は、事業モデルの模索により、費用が先行したこと等から、事業赤字となりました。

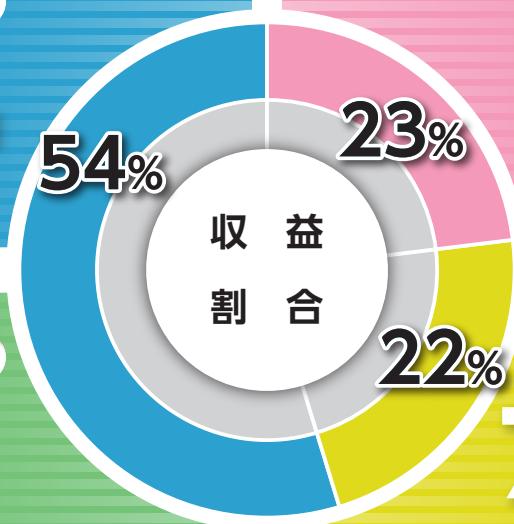


純営業収益
8 百万円

セグメント損失
1.72 億 百万円

純営業収益
7.80 億 百万円
(前期比138.7%)

セグメント利益
1.66 億 百万円
(前期は1億53百万円のセグメント損失)



収益割合

※その他、当社では東京金融取引所における株価指数証拠金取引「くりっく株365」の提供を行っております。

ベンチャーキャピタルファンドへの出資

当社は、ベンチャーキャピタルファンドへの出資を行いました。

今後は、ファンド出資を通じて知り得る有望なFinTechベンチャー企業との業務提携や、直接投資先候補の発掘等も視野に入れ、新しいビジネスモデルの創出を目指してまいります。

① Spiral Ventures (旧 IMJ Investment Partners) 運営ファンドへの出資

ファンドの概要

名称	IMJ-IP Global 3号 (英名: IMJ-IP Global III)
投資領域	主にシード、アーリーステージのIT分野企業 (東南アジア、日本を中心)

ファンド運営会社 Spiral Ventures Pte. Ltd.

本社機能をシンガポールに置き、成長著しい東南アジア市場にいち早く本格進出し、現地ネットワークを構築。主に東南アジア、日本のITスタートアップに対する経営支援、投資活動を行っている。

② 米国「500 Startups」運営ファンドへの出資

ファンドの概要

名称	500 Mobile Collective L.P.
投資領域	主にモバイル・テクノロジー分野におけるアーリーステージ企業
名称	500 Durians II L.P.
投資領域	主にIT、コミュニケーション、インターネットテクノロジー分野における、東南アジアを拠点に事業展開しているアーリーステージ企業

ファンド運営会社 500 Startups Management Company, L.L.C.

米国シリコンバレーを拠点に、シードステージのスタートアップ企業を対象にグローバルに投資活動を行う世界で最もアクティブな投資ファンド。

250人以上のメンターと3,000人以上の起業家ネットワークを活かしたアドバイスやメンタリング等によりシード・ベンチャー企業の立ち上げを支援し、世界50ヶ国、1,500社以上に及ぶ投資実績を持つ。(Twilio, Credit Karma, Grab等)

「ベストスペシャリスト プライムブローカー賞」受賞！

豪州子会社Invest Financial Services Pty Ltd.は、3月3日に英国ロンドンで開催された「ヘッジ・ウィーク グローバルアワード2017」において、「ベストスペシャリスト プライムブローカー賞」を受賞しました。

「ヘッジ・ウィーク グローバルアワード」は、アメリカ、イギリスを中心に全世界で購読されている機関投資家や資産運用会社のための情報誌「ヘッジ・ウィーク」読者のピアレビューにより選ばれた、様々な金融サービス業界のトップパーフォーマーに毎年、贈られます。

今回の受賞は、IFSの流動性供給事業「Pure Prime」サービスが昨年、記録的な売上を達成したことによるもので、比較的新しいプライムサービスプロバイダーであるIFSにとって、大きな名誉です。



◆◆ 連結財務諸表 (要旨) ◆◆

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2017年3月31日現在	前期 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	90,862	91,655
固定資産	1,099	1,255
有形固定資産	94	146
無形固定資産	601	755
投資その他の資産	404	353
資産合計	91,962	92,910
負債の部		
流動負債	81,671	81,978
固定負債	54	137
特別法上の準備金	23	29
負債合計	81,749	82,145
純資産の部		
株主資本	10,228	10,791
資本金	5,965	5,965
資本剰余金	2,313	2,313
利益剰余金	1,987	2,556
自己株式	△38	△44
その他の包括利益累計額	△26	△27
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	△26	△26
新株予約権	3	1
非支配株主持分	8	—
純資産合計	10,213	10,765
負債・純資産合計	91,962	92,910

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業収益	3,548	3,785
受入手数料	711	969
トレーディング損益	2,516	2,376
販売費・一般管理費	3,587	3,474
営業利益又は営業損失(△)	△42	311
営業外収益	0	0
営業外費用	28	30
経常利益又は経常損失(△)	△70	282
特別利益	28	—
特別損失	61	512
税金等調整前当期純損失(△)	△102	△230
法人税、住民税及び事業税	3	173
法人税等調整額	12	0
法人税等合計	15	173
当期純損失(△)	△118	△404
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△118	△404

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	当期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△425	823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,042	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436	△651
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,862	△130
現金及び現金同等物の期首残高	5,971	6,101
現金及び現金同等物の期末残高	4,108	5,971

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 当期より、表示方法の変更を行っており、前期については当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

◆◆ 会社・株式情報 ◆◆

■ 会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	インヴァスト証券株式会社
所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目6番21号
設立	1960年8月
資本金	59億6,508万円
事業内容	金融商品取引業
連結子会社	Invast Financial Services Pty Ltd.

■ 役員構成 (2017年6月28日現在)

代表取締役社長	川路 猛
常務取締役	三ヶ田 裕信
取締役	鶴見 豪
取締役(非常勤)	Gavin White
取締役(常勤監査等委員)	安藤 聡
社外取締役(監査等委員)	淡輪 敬三
社外取締役(監査等委員)	安藤 まこと

■ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	5,904,400株
(うち、自己株式の数)	32,035株
株主数	4,166名

■ 大株主 (上位10名) (2017年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
川路 耕一 信託口	3,136,100	53.40
KYエンタープライズ株式会社	443,800	7.55
川路 洋子	175,400	2.98
川路 猛	144,000	2.45
E H 株式会社	103,200	1.75
川路 耕一	69,400	1.18
森井 利幸	67,000	1.14
北村 悟	51,700	0.88
安藤 まこと	42,900	0.73
深江 今朝夫	42,000	0.71

(注) 持株比率は自己株式(32,035株)を控除して計算しております。

期末配当 について

当期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の事業展開等を勘案し、1株につき36円とさせていただきます。
これにより、年間の配当金は、中間配当金36円と合わせて、1株につき72円となります。

■株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 Tel 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上 場 市 場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.invast.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記株主メモに記載のみずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行（トラストラウンジを除く）、みずほ銀行、みずほ証券の各本支店および営業所でお支払いいたします。

配当金のお支払期限について

当社定款の規定により、配当金を受取る権利は、支払開始後3年を経過しますと消滅いたしますので、お早めにお受取ください。



インヴァスト証券IR Facebookページ&Twitterアカウントのご案内

当社の株主・投資家の皆さまに向け、IR情報、決算・財務情報、株式に関する情報等をリアルタイムに配信してまいります。
皆さまの「いいね！」&「フォロー」をお待ちしております。

 インヴァスト証券 IR室
Facebookページ

 インヴァスト証券 IR室
Twitter アカウント

 ■ インヴァスト証券 IR
Facebookページ

 ■ インヴァスト証券 IR
Twitterアカウント
(@invast_ir)

URL▶<https://www.facebook.com/invast.ir>

URL▶https://twitter.com/invast_ir



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。